

事務事業名	林道整備事業	担当部課	産業部農林課
-------	--------	------	--------

長期総合計画の体系	基本目標	活力ある産業・観光交流のまちづくり	政策	地域の特色を活かした産業を振興する
-----------	------	-------------------	----	-------------------

1. 事業実施によりめざすすがた

二本松西部地区を横断する林道を整備することにより、林業の推進を図り、地域活動が活性化することを目指します。

2. 主な事業の概要と経費

(1) 主な事業概要

林道(板目沢支線) 全延長1,595.0m 幅員6.0m
 舗装済 延長1,152.0m
 未舗装 延長 443.0m

(2) 経費等

未舗装分事業費 10,704千円
 工事費 8,600千円
 測量設計費 2,104千円

3. めざす指標の達成状況

(1) めざす指標(実績、計画、目標)

めざす指標		平成18年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成23年度末	平成27年度末
		計画				
事業レベルの目標設定がなじまない事業						
	実績					

(2) 目標達成の見込み

目標達成(見込み) 達成できない(見込み)

4. 担当部課による事務事業の評価

①事業の有効性について この事業は、「めざすすがた」の達成に有効か。	林道整備の促進により、林業の推進を図り、岳下地区と塩沢地区の交流も促進することができるため、本事業の有効性は高い。
②費用と効果について 事業の効果は費用に対して十分なものか。	地域間の交流を促進することで、地域経済の振興にも寄与することから、費用に対して効果が期待できる。
③施策内での事業の優先度 この事業は、施策内の他の事業より優先的に実施すべき事業か。	二本松西部地区を横断する重要幹線道路に資するものであることから、本事業は優先して事業を実施すべきである。

5. 担当部課による事務事業の総括と今後の方向性

現状(計画)とおり実施 効果が高く事業拡大 やり方を見直して実施 縮小、代替事業の検討 廃止・休止

林道整備が地域経済の振興に寄与することから、今後も継続して実施する。

6. 予算編成の結果

現状(計画)とおり実施 効果が高く事業拡大 やり方を見直して実施 縮小、代替事業の検討 廃止・休止

計画どおり進めること。

7. 予算額と財源内訳(単位 千円)

	平成24年度当初予算	平成25年度当初予算(案)	平成25年度予算の主な内容
事業費	3,204	4,600	・道路改良等工事
財源内訳	国からの補助金		
	県からの補助金		
	起債(借金)		
	その他の財源		
	(上記の内訳)		
一般財源	3,204	4,600	